

令和4年度

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告及び附属明細書

令和4年度は、地域住民や福祉団体・ボランティアなどの多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、地域住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の推進に努めてまいりました。また、人口の減少や高齢化の進展に伴い、地域の中での住民同士のつながりの希薄化や、個々の課題が複雑化・多様化してくる中、生きづらさを抱えた人たちや介護・しょうがいサービスを必要とする方々に対する質の高い福祉・介護・しょうがいサービスの提供を目指し各事業の展開を進めてまいりました。

地域福祉の推進については、本市福祉分野の総合計画である第3期長浜市地域福祉計画がスタートし、新たな課題や取り組みが示されるなか、本市の地域実情に応じた地域福祉活動を展開し、計画の実現に向けた取り組みを進めました。

特に、令和3年度より開始された重層的支援体制整備事業（市委託事業）では「多機関協働事業」に加え、令和4年度から新たに「参加支援事業」を実施し地域で生きづらさを抱える方・世帯に対する包括的な総合相談支援体制の構築と地域社会とのつながりを作るための支援を展開することで、誰一人取り残さない支援の仕組みづくりを推進しました。

介護事業の推進については、社会情勢の変化や個々のニーズに対応できるよう、福祉機器やITシステムを活用し、日常業務の見直しと整理を行うとともに、職員教育の機会を増やして人材育成を積極的に行い、サービスの質の向上に努めることで一定の収益の確保に努め、経営を安定させる基盤づくりを行いました。

伊香の里においては、利用者からのアンケート調査等を基に満足度向上や安心した生活の場の提供に加え、持続可能な施設運営を目指して物価高騰に負けない体制づくりを進めました。

特に、食事提供体制の充実に向けては、業者委託（施設内調理）からセントラルキッチン方式への変更に向けて準備を進めました。セントラルキッチン方式に変更することで調理全体のコスト削減を進めるとともに、管理栄養士の適切な管理、指導のもと利用者一人ひとりの状況に応じた食事提供となるよう計画しました。

法人運営については、DX（デジタルトランスフォーメーション）化を推進することで業務効率を高め、より多くの人材・時間を福祉サービスの提供に専念することで質の高いサービス提供力の確保に努めました。特に令和4年度は、労務管理の基盤となる勤怠システムの全面更新を実施し、デジタル化を進めることで作業効率の向上と紙媒体からの脱却を推進しました。

また、自然災害や感染症に対する対応力強化を図るため、災害対応マニュアルを更新し緊急時においても適切で持続可能な福祉サービスの提供基盤を整備するとともに、各介護事業等においてはBCP（事業継続計画）を個別に策定し、利用者の生命と暮らしの安全が確保できるよう取り組みを進めました。

1. 地域福祉の推進

令和4年度は、第2期地域福祉活動計画推進期間4年目として『地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜』を基本理念に7つの基本方針を掲げ、地域住民と連携し「新しい生活基準」に則した活動企画を進め、情勢に応じた地域福祉活動の取り組みを進めました。

地域共生社会を目指す「重層的支援体制整備事業」では、新たに「参加支援事業」を市より受託し、生きづらさを抱える方の社会参加の場づくりや伴走支援など、本人と企業、事業所のマッチングを行うことで、長浜市における新たな社会参加の場の開拓に取り組みました。

住民主体の地域福祉活動を推進する地区社協・福祉の会が中心となった、暮らしの支えあい検討会では、困りごとを抱える住民の支援や、その予防的な取り組みの検討などに取り組みすることで、地域力の向上に努めました。

また、8月に市内で発生した水害については、地域住民とボランティアの協力により早急な支援活動に取り組んだほか、災害ボランティアセンターにおいては、ICTを活用した登録システムの構築や運営訓練に取り組み、いざという時の体制強化に努めました。その他にも、企業との連携による、買い物と合わせた身近な見守り活動の基盤づくり、市内の子育て世帯の支援を目的に、「ながはま・ファミリー・サポート・センター」の受託運営を行いました。

しょうかい福祉分野については、計画相談事業所を統合して拠点を湖北センターに移し、事業所内でのスーパーバイズ（育成・指導）機能の強化によるサービスの質の向上や利用者支援の充実を進めました。また、基幹相談調整センターと連携し、圏域内の課題の集約や整理、相談支援体制の強化に取り組みました。

(1) 福祉活動支援事業

① 地域福祉推進事業（地域福祉活動計画の推進と地区別福祉活動計画の推進支援）

地域福祉活動計画の進捗管理を行うため、地域住民、福祉関係機関、行政等との連携により長浜市地域福祉活動計画推進委員会を設置し、地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業の推進を図りました。また、地域住民や関係団体、社協、介護事業所、行政等が連携・協働し、各地区の地域福祉推進に向けた支援と取り組みの方向性を話し合う場として福祉懇談会（地域ケア会議）を開催し、市内全地区において地域実情に応じた地域福祉を推進するための第2期地区別地域福祉活動計画に基づき取り組みを進めました。また、第3期地域福祉活動計画の策定に向けワーキング会議を開催し、アンケート・ヒアリング・データ収集の方法検討を行いました。

○地区別地域福祉活動計画の推進支援 15 地区

○長浜市地域福祉活動計画推進委員会の開催

○ワーキング会議の開催

■長浜市地域福祉活動計画推進委員会

開催日	内 容
R4.6.30(木)	第18回地域福祉活動計画推進委員会
R4.10.20(木)	第19回地域福祉活動計画推進委員会
R5.2.16(木)	第20回地域福祉活動計画推進委員会

■長浜市地域福祉活動計画推進アドバイザーとの協議

開催日	内 容
R4.6.20 (月)	第 18 回長浜市地域福祉活動計画推進委員会について
R4.10.5 (水)	第 19 回長浜市地域福祉活動計画推進委員会について
R4.12.28 (水)	第 3 期長浜市地域福祉活動計画の策定について
R5.1.5 (木)	第 3 期長浜市地域福祉活動計画の策定について
R5.2.2 (火)	第 20 回長浜市地域福祉活動計画推進委員会について
R5.2.20 (月)	第 3 期長浜市地域福祉活動計画の策定について

② 地区社協支援事業

地域の実情に応じた福祉活動を推進する基盤福祉団体である地区社協との連携のもと各地域の福祉活動・交流活動を進めることを目的として地区社協への支援を実施しました。

○支援地区社協数 15 地区

○地区社協活動推進事業補助金 15地区 定額 200,000 円 会費納入世帯×150 円

○地区社協事務局運営補助金 6地区 定額 100,000 円 会費納入世帯×50 円

○代表者会議・研修会の実施

○地区社協つうしんの発行

開催日	内 容
R4.6.20 (月)	長浜市社会福祉協議会の動きについて 各地区社協の取り組み紹介、意見・情報交換
R5.1.24 (火)	長浜地区の保護司研修について 第3期地域福祉活動計画について 各地区社協の取り組み紹介、意見・情報交換

③ 福祉委員支援事業

地域における福祉課題への解決に向けた取り組みや地域交流を深めることを目的に設置された福祉委員を支援し、地域実情に応じたきめ細やかな小地域福祉活動がそれぞれの地域で実践されることを目的として支援を行いました。

○地域福祉塾の開催：3回

■開催日：令和4年9月10日（土）

◆参加者数：72名

◆内 容：「地域活動の楽しさ・やりがいとは」

◆講 師：mottoひょうご 栗木剛さん

■開催日：令和4年10月7日（金）

◆参加者数：37名

◆内 容：「地域福祉の現状について」

◆講 師：佛教大学専門職キャリアサポートセンター 金田喜弘さん

■開催日：令和4年10月28日（金）

◆参加者数：26名

◆内 容：「地域課題の発見と実践活動について」

◆講 師：佛教大学専門職キャリアサポートセンター 金田喜弘さん

○地区別福祉委員研修会の開催・支援

■開催回数：4回（六荘地区、南郷里地区、神照地区、神田地区）

④ 地域見守り活動推進事業

日ごろの支えあいの積み重ねによる、いざという時の迅速な対応や、安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の支えあいを基本とした見守りや声かけをはじめとするふれあい活動に加え、見守り会議など見守り体制づくりを推進しました。長浜市避難支援見守り支えあい制度の登録推進など防災・減災活動、避難支援体制整備（防災福祉マップ作製など）を推進しました。

○自治会域での見守り活動の取り組み数

- 見守り会議：52 自治会（新規 22 自治会）
- 命のバトン：311 自治会（新規 19 自治会）
- 防災福祉マップ：132 自治会（新規 30 自治会）

○地区域での研修会等の開催

- 7地区（長浜地区、六荘地区、南郷里地区、虎姫地区、浅井地区下草野学区、高月地区、西浅井地区）

○見守り活動フォーラム2023の開催

○見守り活動啓発資材の配布

- 啓発資材配布自治会・地区数：5自治会 4地区社協
- 配布啓発資材数
 - ◆命のバトン（マグネットケース付き）：133 個

○災害時要配慮者個別避難計画の作成

モデル地区 10 自治会 78 件作成

⑤ ふれあい電話事業

登録されたひとり暮らし高齢者等の方々に対し、ボランティアの協力のもと電話による友愛活動を実施しました。民生委員・児童委員や各福祉関係機関との連携のもと安否確認・生活相談を行うことで、社会的孤立感の解消や日常生活上の課題解決に向けた取り組みを行いました。

また、協力ボランティアを対象とした研修会と交流会を開催し、相談の質の向上に努めるとともに、ボランティア同士のつながりづくりを進めました。

○実施内容 安否確認や福祉ニーズの把握（悩み、不安、健康状態、福祉サービス等）のための電話による友愛活動

○実施日時 毎週水・木曜日 10:00～11:30 計93日間

○通話者 ボランティア団体、民生委員・児童委員協議会 計13団体
個人ボランティア 7名

○対話者 72名（R5.3.31現在）

○通話件数 延べ1,153件

○個別対応 利用者からの相談に対し、専門相談または関係機関等への連絡
延べ49件

○研修会

■開催日：令和4年9月16日（金）

◆内容：講演「聴くが効く」～多様な価値観を知る～

◆講師：扇田 宗親さん（龍谷大学社会学部非常勤講師）

◆参加者：25名

■開催日：令和4年12月9日（金）

◆内容：「ふれあい電話利用者への年賀状作り」～スタンプを使った簡単年賀状作り～

◆講師：重信 瞳さん（消しゴムはんこ作家）

◆参加者：27名

⑥ 小地域サロン支援事業

地域のボランティアが主体となり、高齢者やしょうがい者など地域での交流機会が希薄になりがちな要援護者等を中心として、地域住民がともにふれあえるサロン活動の支援を行いました。サロン活動の充実を目的に、サロンで使えるレクリエーション講座を開催しました。また、サロン支援員を配置し、運営ノウハウ、レクリエーションの提供などの活動支援に取り組みました。

○助成金支援団体数：183 団体

(実施期間 1 年～3 年：30,000 円 4 年以降：10,000 円)

○新規助成金支援団体数：4 団体

⑦ 広報・啓発活動

地域の福祉活動や本会の取り組み、福祉関係の情報を提供する広報紙、ボランティア活動者・サロン運営者向けの情報紙を発行することで、福祉に対する意識向上、地域福祉活動への参加促進、そして活動者、当事者の交流のきっかけづくりを行いました。また、併せて本会活動に対する理解の向上に努めました。

ホームページ、Facebook ページを運営し、手軽に情報を受け取っていただけるよう記事の更新に努めました。また YouTube チャンネルを開設して、研修会や職員紹介動画などを発信して短い時間で多くの情報を認知してもらえよう取り組んだ。

○広報紙の発行

■社協ながはま

◆発行回数：年 4 回 (6 月・9 月・12 月・3 月号)

◆発行部数：7,000 部/回

■ボランティア情報誌「えくすてんど」

◆発行回数：年 12 回

◆配布方法：各まちづくりセンター配布

◆発行部数：約 310 部/回 ※6 月・9 月・12 月・3 月号は社協ながはまに掲載

■ボランティアセンターだより「ランティーちゃん はーい」

◆発行回数：年 3 回 (4 月・2 月・3 月号)

◆発行部数：約 400 部/回

■サロン情報紙

◆発行回数：年 6 回

◆発行部数：約 300 部/回

○ホームページの運営 (<http://www.nagahama-shakyo.or.jp/>)

○Facebook ページの運営 (<https://www.facebook.com/nagashakyou/>)

○YouTube チャンネルの運営 (<https://www.youtube.com/@user-kd8mo9bc3g>)

○広報紙「社協ながはま」広告企業の募集

⑧ 福祉団体助成事業

市内で活動する福祉団体に対して活動費の助成を行い、福祉団体の育成・活動の促進に努めました。

○助成団体数：7 団体

○支援事業数：9 事業

■長浜市民生委員・児童委員協議会

長浜市民児協運営事業

■長浜市手をつなぐ育成会

ボーリング大会

■長浜市老人クラブ連合会

グラウンドゴルフ・スポーツ大会、
地域友愛事業

- 滋賀県私立保育園連盟湖北ブロック
- 長浜市視覚障害者協会
- 長浜地区更生保護女性会
- 長浜市特別支援教育研究部会

- 滋賀県私立保育園絵画展（湖北ブロック）
- ボッチャ体験・IT講習会・歩行訓練
- 一般公開ケース研究会
- 長浜市小中学校特別支援学級学習発表会

⑨ 歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として地域住民や民生委員・児童委員、福祉関係機関、団体等の協力のもと新たな年を迎える時期に、誰もが地域で安心して暮らし、地域のたすけあいや支えあいの活動を広げることが目的として取り組みを推進しました。

事業名	支援対象者・団体数・参加者数など
緊急食料給付事業	生活困窮者向け食料品の購入及び給付
特別支援学級等学用品助成事業	特別支援学級生徒等 264名
要保護世帯図書カード支援事業	要保護世帯児童生徒 26名
一人暮らし高齢者等歳末掃除支援事業	80歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 194件
歳末おせち料理配食事業	80歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 998件
歳末行事支援事業	市内の福祉施設・福祉団体 18団体
福祉対象者交流会(サンタクロース慰問事業)	長浜市内小児病棟入院患者 24名

⑩ しょうがい者等交流事業

○しょうがい児者保護者交流事業（ほのぼのかけはし）

長浜養護学校及び市内小中学校特別支援学級、療育支援センターに通学等するしょうがい児・生徒の保護者等を対象に、しょうがいについての理解を深め、気軽に相談し交流できる仲間（ネットワーク）づくりを目的に研修会“ほのぼのかけはし～みんなひとりじゃないんだよ～”を開催しました。

開催日	内容	講師	参加者数
R4.7.7(木)	ワークショップ 「パペット人形の制作体験」	◇田口 京子さん ◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	4名
R4.9.5(水)	情報交換会 「かけはしカフェ」	◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	8名
R4.10.12(水)	講演会 「新型コロナがつきつける新しい障がい者様式」	◇小林 春彦さん ◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	9名
R4.11.8(火)	職場見学	◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	7名
R4.11.24(木)	ボッチャを体験しよう	◇谷田 勝好さん ◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	5名

※開催場所：高月福祉ステーション、長浜まちづくりセンター

○一般就労者交流支援事業（元気クラブ）

一般就労する知的しょうがい者の余暇活動支援および仲間づくりを目的とした交流事業を湖北地域しょうがい者相談センター「はたらき・暮らし応援センターこほく」との共催で開催しました。

開催内容および参加者数等	開催回数	延べ参加者数
事務（企画）会議	6回	120名
スポーツ体験（ゲーム大会・ボーリング・ウォーキング）	3回	68名
外出・社会見学（日帰り旅行）	5回	115名
自分磨き講座（コミュニケーション・整理整頓・スキンケア）	3回	53名

○しょうがいへの理解促進

地域の福祉活動者を対象に、しょうがいへの理解を広げるための研修会を実施しました。
実施団体・地区数：3地区

⑪ 子育て支援事業

1) おもちゃ図書館事業

未就園の幼児と保護者を対象に、様々なおもちゃでの遊びや簡単な工作をとおして、子どもの豊かな発想と発育を支援するとともに親子のふれあいや保護者同士、地域のボランティアとの交流を促進し、子育て環境の充実を目的に実施しました。

虎姫会場では虎姫福祉の会「は～とらんど」と協働で事業展開し、木之本会場では地域ボランティアや活動グループ協力のもと、地域ぐるみの子育て支援を推進しました。また、湖北福祉の会協力のもと、湖北会場にて、2会場（虎姫・木之本）合同開催実施しました。

○虎姫会場 毎月第2・3水曜日 10:00～11:30

○木之本会場 毎週火曜日 10:00～11:30

開催場所	開催回数	延べ参加者数	延べボランティア活動者数
虎姫会場	21回	91名	7名
木之本会場	45回	80名	10名
湖北会場	2回	30名	6名

2) 冒険遊び場づくり活動支援事業

子どもの外遊びをとおした居場所づくりを目的とした「冒険遊び場」を開催しました。また、冒険遊び場の活動に関心のある団体・個人への相談・開設支援を行いました。

○冒険遊び場の実施 毎月第3土曜日 10:00～15:00

■開催場所：浅井ふくらの森

■開催回数：13回 ※出張開催1回含む

■延べ参加者数：311名（大人111名、子ども200名）

○開催相談・支援団体：1団体

○用具貸出：1件

⑫ 在宅介護者のつどい事業

在宅で介護する方を対象に、日ごろの悩み相談や情報交換ができる仲間づくりの交流会、介護の技術や知識の学習会、介護者が日常的に抱える不安やストレス緩和のリフレッシュの機会などを設け、制度の円滑な利用や介護者の孤立防止を図り、在宅介護の充実に努めました。

開催日	開催場所等	内容	参加者数
R4.4.28(木)	湖北福祉ステーション	己書に挑戦!	12名
R4.5.27(金)	湖北福祉ステーション	沖縄音楽会～めんそーれ～	15名
R4.6.24(金)	長浜まちづくりセンター	アイシングクッキー作り	7名
R4.7.22(金)	長浜まちづくりセンター	こころがふり向く朗読	12名
R4.8.18(木)	長浜まちづくりセンター	健康で美しい身体を手に入れる	8名
R4.9.28(水)	長浜まちづくりセンター	高齢期の栄養改善～食べ方の工夫で今日からいきいきと～	13名
R4.10.25(火)	湖北福祉ステーション	舞い上がる民謡の花	13名
R4.11.25(金)	湖北福祉ステーション	押して楽しむ消しゴムはんこ～カードやポチ袋を作ろう～	8名
R4.12.16(金)	長浜まちづくりセンター	ヨガで身体を温めよう	7名
R5.2.20(月)	長浜まちづくりセンター	おひなさまのオルゴールを作ろう	16名
R5.3.22(水)	長浜まちづくりセンター	春の寄せ植え	17名

⑬ 忘れあい備品購入助成事業

自治会に対して、地域福祉活動や交流事業等に必要な備品の整備を支援することで、地域活動・住民活動の活性化、住民相互の交流促進に努めました。

○助成内容 福祉活動・世代間交流に必要な備品購入助成

※1自治会 50,000円以内 購入費総額の2/3以内

○助成団体数 23自治会

(ベンチ、掃除機、刈払機、エアコン、ノートパソコン、フルカラー複合機、液晶テレビ、プロジェクター、ガスコンロ、湯沸器、椅子、空気清浄機、音響設備等の購入助成)

⑭ 忘れあい用具貸出事業

自治会等地域福祉活動を推進する団体等が行う地域行事に対して、必要な用具を貸出し、地域交流の増進に努めました。

○忘れあい用具貸出実績

用具名	貸出件数	用具名	貸出件数
ポップコーン機	22件	綿菓子機	21件
鉄板	6件	かき氷機	25件
DVD	86件	スクリーン	25件
サンタクロース衣装	2件	プロジェクター	40件
テント	16件	車いす(学習用等)	339件

ビンゴゲーム機	18件	その他	29件
マイク・アンプ	126件	輪投げ	83件
コミュニケーション麻雀	15件	レクリエーション用各種ゲーム	258件
合計	1,111件		

⑮ 福祉用具・福祉車両貸出事業

在宅の高齢者やしょうがい者へ車いすを貸出し、在宅での生活を支援しました。

また、外出支援として在宅で生活する高齢者や、しょうがい者の社会参加の促進と家族の絆を深めるため、介護車両の貸出しを行いました。

○福祉用具（車いす）の貸出回数 274回

○車いす移送用車両の貸出回数 416回

⑯ 第12回 社会福祉大会（社会福祉功労者表彰式）

社会福祉の推進・向上に多大な貢献をされた個人ならびに団体を表彰し、その功績を称えるとともに、多額の浄財を寄付していただいた個人・団体に対して感謝状を贈り、社会福祉の啓発を図りました。

また、福祉標語・福祉ポスターの表彰および発表、地域福祉に対する理解と関心を高めるため講演会を開催しました。

○開催日時 令和4年11月23日（水・祝）9:00～11:30

○開催場所 浅井文化ホール

○社会福祉功績者表彰式

■会長表彰 【個人】：114名

■感謝状（善意銀行の部）【個人】：1名 【団体】：9団体

○講演会

手話シンガーソングライター yokko 氏

○参加者 248名

⑰ ワークキャンプ支援事業

中山間地域の地域課題緩和を目的として、若年層ボランティア（大学生）、一般ボランティアによる地域活動の参加を企画し、地域課題に対する認識と地域住民と参加者との交流を深めました。

実施期間	実施地区	支援内容	延べ参加者数
R4.9.16～17	余呉地区 菅並・摺墨・中河内自治会	泥上げ作業	59名
R5.2.3～4	余呉地区 菅並・中河内自治会	除雪作業	42名

⑱ 福祉出前講座

市民団体、地域団体等が開催する研修会等に職員を派遣することで市民との協働による地域福祉活動の推進を図りました。

○福祉出前講座の開催（地域福祉部職員の派遣、介護事業部職員の派遣は別に記載）

派遣件数：94件 受講者数：1,698名

内容	件数	内容	件数
防災ゲーム「HUG～避難所運営ゲーム～」	2件	災害時体験「災害時の生活」	1件
見守り活動のススメ	9件	災害ボランティアセンターについて	1件

災害時体験「いざメシ作り」	5件	レクリエーションで日常の楽しみを	1件
高齢者疑似体験	1件	やさしさ配慮講座「シニア」～高齢者～	1件
サロンレクリエーション	73件	合 計	94件

⑱ 日常生活支えあい促進事業

高齢化の進行、核家族化やライフスタイルの多様化、中山間地域の人口減少など、地域に住む高齢者やしょうがい者、子育て世代など、日常生活を送るうえで様々な生活課題や日常生活の不便さを感じる方に対し、地域住民が主体的に地域の生活課題の解決に向けて取り組むこと目指して、地域支援組織（生活支援ボランティア組織等）の設立や活動支援を行いました。また、新規活動者養成のため、生活支援サポーター養成講座を開催し、生活支援の視点で地域を見つめ直し活動へつなげる機会としました。

○住民参加型の生活支援ボランティア組織等活動支援

■支援団体：かんだサポート会（神田地区）

元気かい（余呉地区）

西黒田きんたろうサポート会（西黒田地区）

スマイルサポート西浅井（西浅井地区）

下草野地区地域づくり協議会（浅井地区）

たすけあい隊（虎姫地区）

話咲隊（長浜地区）

フレンド（六荘地区他）

■支援内容：活動従事者研修会の開催、活動費の助成、活動用具の貸与、送迎用車両の貸出、活動周知支援、活動保険加入支援等

⑳ 地域除雪推進事業

高齢者世帯およびしょうがい者世帯等の要援護者世帯等の除雪活動に対して、活動保険の加入、除雪支援用の小型除雪機の貸出を実施することで要援護者宅の除排雪活動を支援し、地域の見守り支えあいの活動による雪対策の推進を図り要援護者の冬期生活環境向上を推進しました。

○取り組み自治会数：67自治会

○要援護者登録世帯数：1,427世帯

○除雪支援活動登録者数：1,380名

○小型除雪機貸出件数：0件

㉑ 中山間地支援事業

人口減少や少子高齢化の影響が地域住民の生活や福祉活動に顕著に表れる中山間地域で、住民相互のたすけあい、支えあい活動や住民の憩いのための居場所づくり、生きがいを持って日々の生活を送り健康で健やかな暮らしを応援するための支援活動を行いました。

○地域カフェ「ほっこり茶屋」（コミュニティカフェ）

■開設日時：毎週木曜日 10:00～15:00（第5木曜、祝日、年末年始を除く）

■開設場所：余呉高齢者福祉センター

■開設日数：37日

■利用者数：延べ538名

㉒ ひきこもり者等支援事業

不登校者やひきこもり者等が他者と交流するための支援として、親の会や保健所等各関係機関と

連携し、当事者の居場所づくりに取り組みました。また、“ひきこもり”に対する理解と地域でのあたたかい支援の輪を広げることを目的とした研修会を実施しました。

さらに、不登校やひきこもりに悩む子どもや保護者の孤立を防ぐこと等を目的にサポートブックを作成しました。湖北・湖東圏域で活動する支援団体や滋賀大学と協力し、長浜市・米原市・彦根市・犬上郡・愛知郡エリアの不登校／ひきこもり支援に関する情報をとりまとめました。

○「えんかふえ～ひきこもりの若者 不登校のこどもの居場所～」の開催

■開催日時：毎月第1・3木曜日 13:30～16:30

■参加者数：当事者延べ57名 保護者延べ2名

○研修会・家族交流会の開催

■第1回

◆開催日時：令和4年4月29日（金）13:30～15:00

◆内 容：「不登校・ひきこもりサポートブック発刊記念講演～繋がる～」

◆開催目的：①サポートブックの周知をはかり、不登校やひきこもりに悩む子どもや保護者の孤立を防ぐ

②講師および親の会より、活動の中で出会ってきた人たちの声や当事者との関わりを通して感じてきたこととお話しいただき、当事者の思いに寄り添う

◆講 師：宮田 隼さん

◆参加人数：54名（会場：29名 ZOOM：25名）

※cotton～こっとん～共催

■第2回

◆開催日時：令和4年8月28日（日）13:30～15:00

◆内 容：「『不登校ってなに?』vol.4」

◆開催目的：①研修会をとおして地域のさまざまな人に不登校・ひきこもりについて考える機会をつくる

②当事者の立場から、不登校・ひきこもりについて考える

③講師より当事者との関わりをとおして感じてきたこととお話しいただき、当事者の思いに寄り添う

◆講 師：山下 耕平さん

◆参加人数：66名（会場：32名 ZOOM：34名）

※cotton～こっとん～共催

■第3回

◆開催日時：令和4年11月27日（日）13:30～16:30

◆内 容：「『ひといちばい敏感な子』HSCって何だろう?～HSCの強みを引き出す環境の作り方～」

◆開催目的：①研修会をとおして地域のさまざまな人にHSCについて考える機会をつくる

②当事者の立場から、HSCについて考える

③講師より当事者との関わりをとおして感じてきたこととお話しいただき、当事者の思いに寄り添う

◆講 師：皆川 公美子さん

◆参加人数：87名（会場：34名 ZOOM：53名）

■サポートブック研修会

◆開催日時：令和4年9月15日（木）10:00～11:30

◆内 容：不登校・ひきこもりサポートブックの活用法について

◆講 師：藤田 恵理さん

◆参加人数：15名（越前市第3地区民生委員児童委員協議会）

■サポートブック研修会

◆開催日時：令和4年10月26日（水）13:30～15:00

◆内 容：不登校・ひきこもりサポートブックの活用法について

◆講 師：藤田 恵理さん

◆参加人数：20名（長浜米原しょうがい者自立支援協議会）

○親の会支援（会場手配、チラシ作成・配布支援、研修会開催支援等）

■支援団体数：1団体（cotton～こっとな～）

○発刊物

■不登校／ひきこもりサポートブック

◆目 的：保護者が手に取りやすい場所（公的機関や医療機関等）にこの情報誌を置き、早期に第三者に相談することで、不登校やひきこもりに悩む子どもや保護者の孤立を防ぐまた、不登校状態にある子どもの教育の機会や居場所が確保されるよう選択肢を増やす

◆配布および設置先：50支援機関および団体（長浜市、米原市、彦根市）

※上記3市の小中学校全児童生徒へチラシ配布と各校へのサポートブック設置

②3 福祉バス運営事業

市内で活動する福祉団体、ボランティア団体等が実施する様々な福祉事業（大会参加、研修事業、交流事業、ボランティア活動等）を支援するため、長浜市から委託を受け福祉バスを運行し、福祉団体活動の活性化、当事者団体による要援護者等の社会参加と交流を推進しました。

貸出件数・利用者数とも新型コロナウイルス感染症拡大前に比べるとまだ減少していますが、民生委員児童委員協議会や地区社会福祉協議会の利用は以前の状態に戻りつつあります。

○貸出件数：32件 40台（大型バス10台、中型バス18台、小型バス12台）

○利用者数：812名

②4 子ども食堂支援事業

子ども食堂の活動をとおして子どもと地域のつながりづくりの推進と、新たに活動を始める活動を充実させるための機会づくりに取り組みました。

○子ども食堂の新規立上げ、活動継続支援

市内子ども食堂数：16団体

○県等が開催する研修会、交流会への参加支援

○活動者の情報交換、交流の場の実施

○子ども食堂団体代表者交流会の実施

■日 時：令和4年8月5日（木）13:30～15:30

■内 容：「求められる子どもたちへの市民の気づき～地域で今できることを考える～」
※米原市社協との共催事業

■講 師：京都光華女子大学医療福祉学科准 教授 南 多恵子さん

■参加者：19名

■日 時：令和5年3月13日（月）14:30～15:30

■内 容：「ヤングケアラーの苦悩と気づき～しょうがい者の両親のもとに生まれて～」
※米原市社協との共催事業

■講 師：まほうの子ども食堂 高橋 美江さん

- 参加者：17名
- 活動費の助成
- 助成金申請団体：5団体

②⑤ 生活支援コーディネーター設置

高齢者に必要な生活支援等サービスの提供体制を構築するため、地域住民をはじめ生活支援等サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実、強化及び高齢者の社会参加などの支え合い活動を推進しました。

○生活支援コーディネーター、サロン支援員の活動実績

地区	活動件数	活動時間（時間）
市域活動	364	1632
地区域活動 ※地区社協域	5,881	6,403
サロン活動	813	629
合 計	7,058	8,664

○生活支援活動団体代表者交流会の実施

第1回

- 日 時：令和4年9月7日（水）13:00～15:45
- 内 容：「～広がれ☆地域の輪～グループ運営とメンバーの増やし方」
- 講 師：夢こらぼ 主宰 松尾弥生氏
- 参加者：12名

第2回

- 日 時：令和4年11月17日（木）11:30～17:50
- 内 容：地域共生社会推進全国サミット in つるが（合同研修会）
- 参加者：4名

○生活支援サポーター養成講座の開催

地域福祉講演会

- 日 時：令和4年9月10日（土）①10:00～11:30
②13:30～15:00

- 内 容：地域活動の楽しさ・やりがいとは
- 講 師：mottoひょうご事務局長 栗木 剛氏
- 参加者：①41名 ②31名

地域福祉塾（2回連続講座）※③福祉委員支援事業と合同開催のため併記

第1回

- 日 時：令和4年10月7日（金）10:00～11:30
- 内 容：地域福祉の現状について
- 講 師：佛教大学専門職キャリアサポートセンター 金田 喜弘氏
- 参加者：31名

第2回

- 日 時：令和4年10月28日（金）10:00～11:30
- 内 容：各地の実践事例について
- 講 師：佛教大学専門職キャリアサポートセンター 金田 喜弘氏
- 参加者：26名

○生活協同組合コープしがとの「地域福祉推進に関する包括連携協定」の締結

過疎化や高齢化により買い物のための移動が困難になっている地域住民の買い物支援等、地域福祉推進のための活動として、生活協同組合コープしがと協定を締結しました。

協定締結式：令和5年2月6日（月）14:00～14:30

○高齢者向けスマートフォン講座の開催

高齢者がスマートフォンの基本的な操作方法を習得し、デジタルディバイド解消を図るとともに、講座参加やアプリの活用をとおして生活にメリハリをつけ、健康づくりにつなげることを目指し、高齢者向けスマートフォン講座を開催しました。

講座名	日程	開催場所	参加者
基本講座	令和4年6月30日（木） 10:00～11:30	湖北福祉ステーション	5
基本講座	令和4年6月30日（木） 13:30～15:00	湖北福祉ステーション	4
基本講座	令和4年6月30日（木） 15:30～17:00	湖北福祉ステーション	5
活用講座第1回	令和4年7月27日（水） 14:00～15:30	湖北高齢者福祉センター	8
活用講座第1回	令和4年7月28日（木） 10:00～11:30	北部福祉ステーション	9
活用講座第1回	令和4年7月28日（木） 14:00～15:30	木之本福祉ステーション	10
活用講座第2回	令和4年8月24日（水） 14:00～15:30	湖北高齢者福祉センター	7
活用講座第2回	令和4年8月25日（木） 10:00～11:30	北部福祉ステーション	8
活用講座第2回	令和4年8月25日（木） 14:00～15:30	木之本福祉ステーション	8
活用講座第3回	令和4年9月14日（水） 14:00～15:30	湖北高齢者福祉センター	6
活用講座第3回	令和4年9月15日（木） 10:00～11:30	北部福祉ステーション	7
活用講座第3回	令和4年9月15日（木） 14:00～15:30	木之本福祉ステーション	7

合計	84
----	----

○サロン支援員業務

■サロン交流会（第1回）

※サロンボランティア・認知症キャラバンメイト合同研修会のため併記

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R4.7.15(金)	木之本スティックホール	「ごぼう先生から学ぶ 認知症予防講座」 講師：株式会社 GOBOU 代表取締役 築瀬 寛(ごぼう先生)	101名
R4.7.15(金)	浅井文化ホール		111名

■サロン交流会（第2回）

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R5.3.1(水)	神照まちづくりセンター	木之本・長浜警察署による 防犯啓発講座	55名
R5.3.2(木)	木之本スティックホール		52名
R5.3.2(木)	湖北センター		49名

■アルプラザ長浜 居場所づくり

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R4.6.25(土)	おとなRe スペース	5分でわかる健康チェック ベジチェック・握力・口腔機能測定	66名
R4.7.30(土)	おとなRe スペース		75名
R4.8.27(土)	おとなRe スペース		83名
R4.9.23(金)	おとなRe スペース		209名
R4.10.29(土)	おとなRe スペース		62名
R4.11.26(土)	おとなRe スペース		50名
R4.12.10(土)	おとなRe スペース		68名

■アルプラザ長浜 居場所づくり

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R4.7.12(火)	おとなRe スペース	「ボッチャ体験会」 誰でも参加可能なボッチャ（ニュース ポーツ）の体験会	3名
R4.8.28(日)	おとなRe スペース		20名
R4.9.27(火)	おとなRe スペース		10名
R4.10.25(火)	おとなRe スペース		5名
R4.11.29(火)	おとなRe スペース		18名
R4.12.13(火)	おとなRe スペース		3名

○小地域サロン交流会：13地区 14回 延べ参加者377名

○レクリエーション支援（一時支援）：72団体

○サロン立ち上げ支援（継続支援）：4団体（12団体）

○サロン情報紙の発行：年6回（4月・6月・8月・10月・12月・1月）

②6 認知症サポーター等養成事業

認知症キャラバンメイトが地域住民に向けて開催する認知症の啓発活動を支援することで、認知症は身近な病気であることを住民に広く周知・啓発し、地域の認知症の理解者を増やし、地域ぐるみで認知症のある人と家族を見守る体制づくりを推進しました。

○認知症サポーター等養成講座

■地域・自治会：28回（受講者数：485名）

■小学校・中学校（絵本教室）：小学校 27回（受講者数：787名）
中学校 10回（受講者数：532名）

○認知症キャラバンメイト活動支援

■定例会開催支援：一般メイト：61回 専門職メイト 2回

■リーダー会開催

◆一般メイトリーダー会

日 時：令和4年6月23日（木）13:30～14:30

場 所：さざなみタウン 2階 多目的ホール

参加者：キャラバンメイト12名 関係者17名

◆専門職メイトリーダー会

日 時：令和4年6月30日（木） 13:30～15:00

場 所：長浜まちづくりセンター3-A、zoom

参加者：キャラバンメイト 5名 関係者 4名

○研修会開催

■第1回研修会（※サロンボランティア・認知症キャラバンメイト合同研修会のため併記）

◆日 時：①令和4年7月15日（金） 10:00～11:30

②令和4年7月15日（金） 13:30～15:00

◆場 所：①木之本スティックホール

②浅井文化ホール

◆内 容：講演ごぼう先生から学ぶ「認知症予防講座」

講師：株式会社GOBOU 代表取締役 築瀬 寛（ごぼう先生）

◆参加者：①101名

②111名

■第2回研修会

◆日 時：令和4年12月8日（木） 10:00～11:30

◆場 所：さざなみタウン 2階多目的ホール

◆内 容：講義「オンライン認知症サポーター養成講座にチャレンジ」

～オンラインで盛り上げる方法を一緒に考えましょう～

講師：ソフトバンク株式会社 黄瀬 清典 氏

◆参加者：キャラバンメイト 24名、関係者 18名

②7 地域共生社会推進事業

地域住民などが主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境の整備、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備を推進し、地域共生社会の実現に向けた地域力の強化に努めました。

また、少子高齢化や核家族化の進行、人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く複合・複雑化した課題に対応するため、相談支援機関等の連携を強化し、包括的な支援体制を構築するため、次の業務に取り組みました

○「暮らしの支えあい検討会」の開催：

■全地区（15地区）と地区をこえた課題をテーマに検討会の開催

（検討例）◆地区をあげたフレイル予防活動 ◆しょうがい児の地域交流活動の検討と実践

◆多分野連携による福祉課題解決 ◆不登校児童・生徒の第三の居場所

◆多文化交流の促進 ◆再犯防止の推進

◆フードバンク活動の推進 ◆自治会の見守り活動の推進 他

○研修会の実施

■「地域共生フォーラム2023」

◆日 時：令和5年3月4日（土） 10:00～12:00

◆会 場：神照まちづくりセンター 参加者：63名

◆内 容：講演「みんなで取り組む地域共生社会づくり」

◆講 師：山崎 亮さん（studio-L 代表）

⑳ 重層的支援体制整備事業（多機関協働事業・参加支援事業）

複合化・複雑化した地域生活課題や支援ニーズに対応するため、属性を問わない相談支援・参加支援・地域づくり支援を一体的に取り組み、相談支援機関等との連携を強化し、包括的な支援体制を構築するための取り組みを進めました。

【多機関協働事業】

○相談支援の実施

■相支援件数：152件 [内訳：新規受理63件/継続87件/再受理2件]

■個別支援連携会議：95件

■社会資源のネットワーク開拓件数：22件

開拓例：ヨコタ農園、イケダ光音堂、長浜カイコー、NPO 法人つどい 他

【参加支援事業】

○支援件数：18件

○相談元内訳：しょうがい福祉課1件/社会福祉課8件/発達支援室6件/NPO つどい3件

○地域の社会資源開拓数14件/啓発周知数22件

○マッチング数：16件

○重層的支援会議：34件

○連携体制の構築

■出前講座の実施：4件

■他市との相互研修・視察受け入れ等：7件

㉑ フードバンク・フードドライブ支援事業

新型コロナウイルス感染症などの影響により、生活に困窮する方の支援として、特に食料を中心とした「寄付から配布」の流れをつくるフードバンク・フードドライブ活動の支援



○フードドライブ（FD）協議／意見交換会

開催日	内容	出席人数
R4.4.18（月）	情報交換会	4名
R4.9.14（水）	フードバンク木之本 活動に関する協議	6名
R5.3.15（水）	フードバンク活動協議	4名

(2) ボランティア支援

① ボランティアセンター事業

ボランティア活動を支援し住民参画による地域福祉の推進を図りました。地域住民が幅広くボランティア活動に参加できるよう、活動に関する相談、情報・資料の提供、講座の開催やボランティ

ア活動に対する啓発、また活動者が安心して活動ができるようボランティア活動保険の加入の推進に努めました。

○ボランティア登録団体数 225 団体 (R5.3.31 現在)

○ボランティアコーディネート件数

■ボランティア相談件数 145 件

■ボランティア派遣回数 131 件

○ボランティア団体の活動支援

■ボランティア活動助成について

◆助成団体数：72 団体 (1 団体上限 40,000 円)

◆助成金額：2,497,256 円

○ボランティア講座の開催

講座名	主な内容	講座回数	延べ受講者数
初級手話教室	手話の基礎研修 (土曜コース・平日コース)	6 回 (2 会場)	130 名
子どもボランティア講座	福祉やボランティアを考える	2 回	20 名
ボランティアきっかけ講座	ゲートキーパー研修	1 回	16 名

○情報紙の発行 ※【広報紙の発行】参照

○ボランティア登録の推進

■新規登録 団体：6 団体、個人 3 名

○ボランティア発表会

■アル・プラザ長浜セントラルコートにて、ボランティア発表

令和 4 年 5 月 28 日 (土)

令和 4 年 10 月 22 日 (土)

令和 5 年 2 月 18 日 (土)

○ボランティア展示会

■アル・プラザ長浜

◆緑友会 作品展示

◆グループ 作品展示

◆長浜地区社会福祉協議会 活動紹介

○ボランティア保険の加入促進と事務取扱

■ボランティア保険取扱数

◆ボランティア活動保険 3,409 名

◆ボランティア行事用保険 157 件

◆福祉従事者保険 17 件

■事故・変更対応取扱数

◆事故対応 3 件

○ボランティア連絡協議会への支援：5 団体 (地区)

■市内ボランティア連絡協議会活動費助成金

◆助成団体数：2 団体

◆助成額：50,000 円

■市内 6 つのボランティア連絡協議会会議

◆会議開催：38 回

◆事業数：3回

■市内ボランティア連絡協議会代表者会の開催

◆会議開催：2回

○ボランティア活動の啓発（広報・社会福祉大会等の開催）

■福祉に関して啓発（小学校募集：標語、ポスター）

◆標語 16小学校 1,347名が参加

◆ポスター 11小学校 346名参加

○ながはま市民協働センターとの連携

■みんなでつながる広場～波紋疾走（オーバードライブ）～の開催

◆日時：令和5年3月19日（日）13:00～16:00

◆場所：長浜まちづくりセンター多目的ホール

◆内容：ドライブスピーチ（基調講演）、クロスオーバートーク（事例発表）、意見交換

◆参加者：58名

② 災害ボランティアセンター体制整備事業

災害ボランティアセンターの体制整備を図り万が一の災害時に対応して、円滑なセンターの設置および運営が実施できるよう準備するとともに、併せて市民啓発を行うことで地域住民の災害に対する関心を高めました。

○災害ボランティアセンターの啓発

■防災出前講座

◆講座開催数：5回

◆内容：災害時体験講座「いざメシ」を作ろう、災害ボランティアセンターの役割等

■防災イベント イザカエルキャラバン共催

◆日時：令和4年11月3日（土）

○職員研修会

■災害ボランティアセンター職員研修

◆日時：令和4年6月14日（火）

◆内容：災害ボランティアセンターについて

◆講師：office 園崎 園崎 秀治 氏

◆参加者：21名

○災害ボランティアセンター設置訓練の実施

■災害ボランティアセンター設置訓練

◆日時：令和4年12月21日（火）

◆内容：kintone 運用訓練

○災害体制構築に関わるアドバイザー契約

■Office 園崎 園崎 秀治 氏とアドバイザー契約

○ICT 導入

■サイボウズ社 kintone の導入

○8月大雨による高時川氾濫に伴う災害支援

■支援自治会：5自治会

■支援日数：5日

■活動者：93名（ボランティア団体、福祉の会等）

③ 福祉教育推進事業

市内の小学校・中学校・高等学校・養護学校等との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福

社教育の推進に努めました。また高等学校や大学、福祉施設等において、体験をとおした思いやりや助け合う意識力を高める取り組みも行いました。

○支援学校数

- 小中学校 29校 (延べ5,729名)
- 養護学校 1校
- その他(高等学校、大学、施設等) 4校(団体)

○学習プログラム支援

- 支援時間数：181時間

■主な学習プログラム

- ◇インスタントシニア体験 ◇車いす体験 ◇手話について学ぶ
- ◇点字について学ぶ ◇要約筆記について学ぶ ◇アイマスク体験
- ◇しょうがい者等当事者からの体験談 ◇ボランティア学習 ◇災害 他

④ ながはま・ファミリー・サポート・センター

市内の子育て世帯の支援を目的に、援助を行うボランティアと、援助を希望する住民をマッチングし「地域による子育て」を推進し、児童の福祉の向上を図りました。

○会員組織に関すること

- ボランティア、利用者の募集及び会員登録

登録会員数：415名

内訳 おねがい会員236名 まかせて会員153名 どちらも会員26名

新規登録会員数：おねがい会員23名 まかせて会員8名(上記登録会員数に含む)

- 会員による援助活動とマッチング

活動件数：838件(キャンセル9件含む)

新規マッチング数：31ペア

○研修・交流・広報に関すること

- 援助活動の研修会・交流会の開催

◆研修会

9月21日(水) 研修会『児童クラブって何? 今どきの子ども達って?』

講師：子育て支援課 児童クラブ運営室

室長 狩野尚士さん 統括管理者 中西佳澄さん

参加者 8人

10月6日(木) 講演会『愛されて育つ=愛して育てる』

講師：安倍映子さん

参加者 9人

◆交流会

8月17日(水) 『レク&ふれあい遊び』 講師：二宮 保さん

参加者16人 スタッフ3人

12月26日(月) 『簡単な英語で遊ぼう』 講師：ポップ・ダニエルさん

参加者31人 スタッフ3人

◆救命講習会 3回

- センターの広報に関すること

情報誌『ホットタイム』の発行 3回

- その他 関係機関との連絡調整に関する業務

子育て支援課、市教育委員会(幼児課)、対象保育園等との情報共有

(3) 生活相談支援

① 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分なため権利侵害を受けやすい認知症・知的しょうがい・精神しょうがいのある方等に対して、福祉サービスの利用手続きの支援をはじめ、日常的な金銭管理、書類等の保管などを行いました。福祉サービス・行政サービス等を適切に利用できるような支援し、また不当な権利侵害等を未然に防ぐことに努め、地域で安心して生活が送れるように支援しました。

(援助内容)

- 福祉サービスの利用援助
- 日常的な金銭管理
- 書類等預かりサービス

	認知症 高齢者	知的 しょうがい 者	精神 しょうがい 者	その他	合 計
利用者数 (R5.3.31 現在)	117名	100名	63名		280名
新規利用者数	33名	10名	9名		52名
利用終了者数	18名	1名	7名		26名
相談援助回数	7,135回	6,800回	5,722回	10回	19,667回

② 成年後見事業

判断能力が不十分で、契約などの法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方に対し、本人の判断能力に応じ、意思決定が最大限尊重されるよう本会が成年後見人等となり、財産管理・身上監護・その他必要な法律行為を行いました。

また、市の委託を受けて長浜市成年後見・権利擁護センターを運営し、成年後見制度や利用手続き支援、地域の中で権利擁護体制の基盤を作るための啓発講座等を実施しました。

- 法人後見事業（財産管理・身上監護・その他、本人の権利擁護に必要な法律行為等）

■法人後見受任

	受任件数 (R5.3.31 現在)
後見類型	7件
保佐類型	3件
補助類型	1件

○成年後見サポートセンター事業

■広報・啓発事業

出前啓発活動	関係団体：2団体 受講者：41名		
啓発講座の開催	日時	内容等	受講者数
	R4.6.29 (水)	～成年後見制度の基礎～	38名
	R4.7.13 (水)	しょうがいへの理解・権利擁護支援	37名
	R4.7.27 (水)	認知症への理解・成年後見に関する事例	45名
	R4.8.10 (水)	任意後見制度	31名
啓発資料の作成	カレンダー・年齢早見表：2,000部 リーフレット作成		

■成年後見サポーター養成講座

成年後見及び地域福祉権利擁護事業の担い手を育成するサポーター養成講座を開催しました。

成年後見サポーター 養成講座の開催	日時	内容等	受講者数
	R4.9.29 (木)	成年後見制度概要及び必要性、制度を利用した生活支援事例	6名
	R4.10.6 (木)	知的しょうがい者・精神しょうがい者への理解及び相談援助の方法 地域福祉権利擁護事業の概要	6名
	R4.10.20 (木)	認知症への理解及び相談援助の方法	6名
	R4.10.27 (木)	社会保障と消費生活の理解	6名
	R4.11.2 (水)	後見事務の方法～成年後見制度の申立て方法について～	8名

■相談支援回数

事項(対象)	相談者	本人	親族	福祉	医療	司法	行政	合計
	成年後見制度に関する相談	認知症高齢者	16回	71回	176回	21回	0回	59回
知的しょうがい		6回	12回	22回	1回	0回	22回	63回
精神しょうがい		11回	19回	39回	12回	1回	47回	129回
市長申立手続きに係る相談	認知症高齢者	0回	1回	0回	1回	0回	17回	19回
	知的しょうがい	0回	0回	0回	0回	0回	2回	2回
	精神しょうがい	0回	0回	0回	0回	0回	2回	2回
合計		33回	103回	237回	35回	1回	149回	558回

■申し立て支援回数

事項(対象)	対象者	本人	親族	行政	合計
	後見申立	認知症高齢者	5回	19回	20回
知的しょうがい		0回	1回	1回	2回
精神しょうがい		2回	16回	0回	18回
保佐申立	認知症高齢者	9回	3回	23回	35回
	知的しょうがい	0回	0回	0回	0回
	精神しょうがい	0回	0回	0回	0回
補助申立	認知症高齢者	3回	0回	27回	30回
	知的しょうがい	0回	0回	0回	0回
	精神しょうがい	0回	0回	0回	0回
合 計		19回	39回	71回	129回

■成年後見受任者支援 成年後見制度受任者情報交換会

開催日	開催内容	参加人数
R4.12.9(金)	成年後見等の意思決定支援について 意見交換会	19名

■くらしの困りごとなんでも相談会（ワンストップ相談会）の開催

開催日	開催場所	相談件数
R4.10.26(水)	長浜市役所本庁舎	6組

■関係者協議会の開催

- 第1回 令和4年8月29日（月）10:00～11:30
- 第2回 令和5年3月3日（金）10:00～11:30

■地域連携ネットワーク会議の開催

- 第1回 令和4年6月30日（木）13:30～15:00
- 第2回 令和4年10月31日（月）10:00～11:30
- 第3回 令和5年2月3日（金）10:00～11:30

■成年後見担当者ネットワーク会議

- 第1回 令和4年6月10日（金）10:00～11:30
- 第2回 令和4年12月6日（火）10:00～11:30

③ よろず相談事業

広く住民の日常生活上の悩みや心配ごとの相談を受け、適切な情報の提供を行い、地域住民の福祉増進と、生活の安定を図れるように努めました。

○開設日時・場所

開設場所	開設日	開設時間
長浜市社会福祉センター (専用電話 63-4811)	毎週月・火・水・金曜日	午後1時～午後4時
	毎週木曜日	午前10時～正午
湖北福祉ステーション	毎月第4水曜日	午前10時～正午
木之本福祉ステーション	毎月第4木曜日	午前10時～正午

○相談実績

区 分	開設日数	相談件数
1. よろず相談 ①一般相談	194日	125件
②専門相談	71日	36件
2. 法律相談	24日	109件
合 計	289日	270件

○よろず相談員研修会

開催日	内容	出席人数
R4.9.15(木)	対話調停とその技法の活用について	22名

④ 生活福祉資金貸付事業（受託事業）

滋賀県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯、高齢者世帯、しょうがい者世帯を対象に、必要な資金の貸付及び生活相談を行うとともに、民生委員・児童委員の指導、援助を受けることで経済的自立および生活意欲の助長・促進ならびに在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活に向けての支援を実施しました。

○新規貸付件数(特例を含む) 344件

■総合支援資金・福祉資金・教育支援資金

資金種別	貸付件数
総合支援資金	0件
福祉費	11件
緊急小口資金	16件
教育支援資金	19件

■特例貸付

資金種別	受付件数
緊急小口資金	158件
総合支援資金※延べ件数	140件

⑤ たすけあい資金貸付事業

緊急的に生活維持費が必要な世帯に対し、生活資金を貸付けることにより安定した生活が営めるよう支援を行いました。

○新規貸付件数 28件

○新規貸付額 1,120,000円

○年度末貸付件数 77件

○年度末貸付額 2,147,000円（令和5年3月31日現在）

⑥ 緊急食料給付事業

低所得世帯等で緊急的に食料給付が必要な世帯に対し食料品を給付し、当該世帯の生活維持の支援を行いました。また、電気・ガスの供給停止等により給付する食料の調理が困難な場合には、調理器具を貸与しました。

○緊急食料給付件数 52世帯（実人数 79名）

○調理器具貸与件数 0件

⑦ しょうがい相談支援事業所「ふらっと」「ナノハナ」の運営

しょうがい福祉等の総合相談窓口として、本人やご家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、サービス利用計画の作成等の支援を行うとともに、福祉サービスや制度利用についての情報提供および利用支援を行いました。

福祉サービスを利用または利用見込みのしょうがい児・者に対して計画相談支援に基づくサービス等の利用計画の立案を行い、適切なサービスを利用し安心して生活できるよう支援しました。また、定期的にサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行いサービス計画の適切な見直しを実施しました。

○個別相談援助業務

サービス等利用計画作成契約者数 262名 (R5.3.31 現在)

	延べ支援件数
しょうがい福祉サービス等の利用援助	5,984 件
生活支援に関する計画作成	328 件
ケアプラン作成後のモニタリングの実施	693 件
サービス調整連絡会議の開催	111 件

○しょうがい福祉に関する調整業務等

■圏域定例会への出席

◆指定特定相談支援事業所間一体的管理運営管理者会議 12回

◆指定特定相談支援事業所間一体的管理運営実務者会議 12回

■長浜米原しょうがい者自立支援協議会への参画と協働・連携体制の構築

◆全体会 年間2回

◆当事者サポーター推進分科会 10回

◆その他研修会等への参加

■職員定例会の開催と情報共有・連携体制の構築 12回

■専門的研修会への参加

⑧ 長浜米原しょうがい児者基幹相談調整センターの運営

長浜市および米原市におけるしょうがい相談支援体制強化の中核的な役割を担うために、基幹相談調整センターを運営しました。

湖北福祉圏域の課題整理と分析を行い、しょうがい児・者自らが選択した場所で、希望する生活を続けることができるようサービス等利用計画作成のための調整、しょうがい福祉専門職の人材育成、関係機関ネットワークの構築に向けた取り組みを進めました。

また、長浜米原しょうがい者自立支援協議会事務局を運営し、福祉関係者だけでは解決できない地域課題に対して、医療・教育・就労・行政その他専門機関が連携し、課題解決に向けた取り組みを継続的に実施しました。

○会議の開催

■基幹センター運営会議 12回

■相談支援事業所管理者会議 1回

■発達障害者支援関係機関会議 1回

■相談支援専門員研修企画会議 4回

■学卒生予定者計画相談調整会議 2回

■放課後等デイサービス事業所懇談会 2回

■長浜米原しょうがい者自立支援協議会（事務局会議・運営会議・全体会議） 18回

○研修会の開催

	期日	内容等	受講者数
若手職員向け連続講座の開催	(第1回) R4. 7.14(木)	障害者差別解消法・滋賀県障害者差別のない共生づくり条例について	17名
	(第2回) R4. 8. 4(木)	しょうがい福祉制度について	19名
	(第3回) R4. 9. 8(木)	アセスメントについて	16名
	(第4回) R4.10.12(木)	知的しょうがいについて	31名
	(第5回) R4.11.10(木)	ストレスマネジメントについて	34名
	(第6回) R4.12. 8(木)	発達しょうがいについて	13名
	(第7回) R5. 1.12(木)	権利擁護支援について	17名

	期日	内容等	受講者数
相談支援専門員スキルアップ研修	R4.10.27(木)	計画相談支援・障害児相談支援事業所連絡会	18名
	R4.11.18(金)	ピカジップ方式での事例検討会	17名
	R4.12.26(月)	計画相談支援・障害児相談支援事業所連絡会	25名
	R5. 2.24(金)	計画相談支援・障害児相談支援事業所連絡会	28名

	期日	内容等	受講者数
福祉サービス提供事業所職員向け研修会	R4.6.24(金)	虐待防止研修	66名
	R4.10.14(金)	アンガーマネジメント研修	12名
	R5.3.2(木)	しょうがい者へのケアマネジメント研修	28名

○相談支援事業所二次的対応

- 二次相談支援 11か所 支援回数 50回
- 相談事業所への巡回相談 12回

○事例検討会の開催

- すべての相談支援事業所対象の事例検討会 1回
- 基幹相談調整センターが2次相談を担う事業所への事例検討会の実施 3回
- 新型コロナウイルス感染者の発生時の計画相談支援事業所への情報提供 660回

○会議等への参画

- 相談事業所（共同体）実務者会議 9回
- 相談事業所（共同体）管理者会議 10回
- 認証ケアマネ事業への協力（研修・会議等・打合せ） 30回
- 滋賀県障害者自立支援協議会、ネットワーク部会への出席 15回
- 長浜市地域連携ネットワーク会議 2回
- 長浜市成年後見・権利擁護関係者協議会 2回
- 長浜市スポーツ施設整備基本計画策定にかかるワークショップ 4回
- 重度障害児者入浴支援事業会議への参画 3回

○長浜米原しょうがい者自立支援協議会の活動

専門部会	活動数	専門部会	活動
重介護医療ケア検討部会	9回	権利擁護部会全体会	2回
ジョブスター会議	8回	当事者サポーター推進分科会	10回
学卒分科会	5回	虐待防止分科会	5回
発達しょうがい者支援部会	6回	100人部会	3回
社会資源環境部会	1回	ライフステージ専門性部会	1回
生活の充実部会	1回	その他部会等開催前のコア会議等	30回
日中サービス支援型GH評価会議	2回	合計	83回

自立支援協議会主催 の研修会	期日	内容等	受講者数
	R4.7.28(木)	ICT・意思伝達装置の研修	15名
	R4.9.14(水)	地域移行～取り組みから学ぶ～	61名
	R4.9.22(木)	災害時における医療機器の電源確保について	10名
	R4.10.26(水)	不登校ひきこもり支援について	20名
	R4.11.24(木)	重度訪問介護研修	30名
	R5.1.24(火)	ペアレントメンターについて	25名

2. 在宅介護サービス

各事業に室を設置し管理部門と事業所、また各事業間の連携をさらに密に事業の推進を図りました。

介護事業課および各事業所で組織するBCP策定委員会を設置し、災害時のサービスの維持または早期再開に向けた計画を策定しました。また策定作業や研修を通じて、改めて職員の防災、災害対応に対する認識を深めることができました。

業務改善については、前年度後半に導入した居宅介護支援事業のタブレット端末、訪問介護事業のスマートフォン端末を用いた管理システムをより有効に積極的に活用し、サービス向上、業務効率化を推進しました。

経営改善に向けては、居宅介護支援事業所等へ向けて情報発信を積極的に行い新規利用者に獲得に努めるとともに、事業所間の職員応援により柔軟な職員配置を行い適正な職員配置に努めました。

(1) 居宅介護支援事業所

①居宅介護支援事業（介護保険事業）

②介護予防支援事業（受託事業）

3事業所 しゃきょうケアプランセンターひいす（北部福祉ステーション）
 しゃきょうケアプランセンターえいる（湖北福祉ステーション）
 しゃきょうケアプランセンターらいと（西浅井福祉ステーション）

（居宅介護支援事業実績）

（延利用者数 [単位:名]）

区 分	事業所			合 計	前年度	前年比
	ひいす	えいる	らいと			
常勤換算数（名）	4.7	5.8	3.8	14.3	15.2	94.1%
利 用 者 数	事業対象者（名）	0	6	6	7	85.7%
	要支援者（名）	323	382	262	967	111.7%
	要介護者（名）	1,543	2,142	1,495	5,180	96.5%
	合 計（名）	1,866	2,530	1,757	6,153	98.6%
平均持ち件数（名） ※1	30.2	33.6	35.7	33.0	31.8	103.8%

※1 平均持ち件数 = { (事業対象者 + 要支援者) ÷ 2 + 要介護者 } ÷ 常勤換算数 ÷ 12か月

(2) 訪問介護事業所 (ホームヘルプサービス事業)

- ①指定訪問介護 (介護保険事業)
- ②総合事業訪問介護 (介護予防日常生活支援総合事業)
- ③居宅介護 (障害者総合支援事業)
- ④重度訪問 (障害者総合支援事業)
- ⑤同行援護 (障害者総合支援事業)
- ⑥しょうがい者等移動支援事業 (市受託事業)
- ⑦養育支援訪問事業 (市受託事業)
- ⑧自費サービス (介護保険外サービス)

2事業所 しゃきょうヘルパーステーションこくあ (浅井福祉センター)

しゃきょうヘルパーステーションあとれ (伊香の里)

(ホームヘルプサービス事業実績)

(延利用者数 [単位: 名])

区分	こくあ	あとれ	合計	前年度合計	前年比
訪問介護事業 (介護保険事業)	10,800	13,357	24,157	25,932	93.2%
身体介護	5,553	8,401	13,954	14,722	94.8%
身体・生活	2,109	3,512	5,621	5,520	101.8%
生活援助	3,138	1,444	4,582	5,690	80.5%
総合事業訪問介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)	1,900	2,953	4,853	4,483	108.3%
居宅介護事業 (障害者総合支援事業)	6,363	4,471	10,834	10,899	99.4%
身体介護	4,645	2,726	7,371	7,559	97.5%
家事援助	1,678	1,706	3,384	3,254	104.0%
通院介助	40	39	79	86	91.9%
重度訪問介護事業 (障害者総合支援事業)	155	0	155	113	137.2%
同行援護事業 (障害者総合支援事業)	108	165	273	238	114.7%
しょうがい者移動支援事業 (市受託事業)	0	37	37	28	132.1%
養育支援訪問事業 (市受託事業)	3	0	3	29	10.3%
合計	19,329	20,983	40,312	41,722	96.6%

(3) 通所介護事業所 (デイサービス事業)

- ①通所介護事業 (介護保険事業)
- ②総合事業通所介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)
- ③共生型生活介護 (しょうがい福祉サービス事業) 【デイサービスいろはの湯・しゃきょうデイサービス高月で実施】

9事業所

(デイサービス事業実績)

(延利用者数 [単位：名])

区 分	開所日数 (前年比)	延利用者数 (名)		前年度 (名)	前年比	定員 開所日
リハビリデイサービス 東部	310 (+3)	介護サービス	6,420	6,591	97.4%	35名 週6日
		介護予防サービス	724	574	126.1%	
		計	7,144	7,165	99.7%	
神照リハビリデイサービス	259 (-1)	介護サービス	5,428	5,416	100.2%	35名 週5日
		介護予防サービス	1,933	1,406	137.5%	
		計	7,361	6,822	107.9%	
リハビリデイサービス 浅井	310 (+1)	介護サービス	5,694	6,034	94.4%	35名 週6日
		介護予防サービス	546	195	280.0%	
		計	6,240	6,229	100.2%	
デイサービスいろはの湯	259 (-1)	介護サービス	3,928	3,399	115.6%	30名 週5日
		介護予防サービス	415	384	79.5%	
		共生型サービス	233	258	90.3%	
		計	4,576	4,041	113.2%	
リハビリデイサービス 湖北	310 (+1)	介護サービス	5,160	6,097	84.6%	35名 週6日
		介護予防サービス	939	768	122.7%	
		計	6,099	6,865	88.8%	
しゃきょうデイサービス 高月	310 (+1)	介護サービス	5,668	5,180	109.4%	35名 週6日
		介護予防サービス	655	782	83.7%	
		共生型サービス	232	312	74.5%	
		計	6,555	6,274	104.5%	
リハビリデイサービス 伊香の里アネックス (木之本)	310 (+1)	介護サービス	4,446	4,261	104.3%	35名 週6日
		介護予防サービス	998	1,076	92.8%	
		計	5,444	5,337	102%	
リハビリデイサービス 西浅井	310 (+2)	介護サービス	8,352	8,535	97.9%	40名 週6日
		介護予防サービス	1,254	1,096	114.4%	
		計	9,606	9,631	99.7%	
しゃきょうデイサービス 伊香の里	310 (+6)	介護サービス	5,770	5,987	96.4%	40名 週6日
		介護予防サービス	1,859	1,732	107.3%	
		計	7,629	7,719	98.8%	
合 計	-	介護サービス	106,892	103,232	103.5%	-
		介護予防サービス	19,585	16,075	121.8%	
		共生型サービス	465	570	81.6%	
		計	126,942	119,877	105.9%	

(4) 活動支援型通所サービス事業所

①活動支援型通所サービス事業（介護予防日常生活支援総合事業）

（活動支援型通所サービス事業実績）

区分	定員（名）	開所日数（日）	延利用者数（名）
しゃきょうミニデイ高月	13	50	272

※ 令和5年3月31日廃止（利用者減少のため、廃止にあたり利用者はしゃきょうデイサービス高月の介護予防サービスを利用）

(5) 地域密着型介護事業所

（ひなたぼっこ実績） 登録者定員 20 名・通所介護定員 10 名

区分		実績（名）	前年度（名）	前年比
登録者平均数		17	18.8	90.4%
延利用者数		4,506	4,223	106.7%
利用者サービス	訪問延利用者数	1,906	1,415	134.7%
	通所延利用者数	2,464	2,658	92.7%
	宿泊延利用者数	136	150	90.7%

※ 小規模多機能型居宅介護：要支援や要介護状態となっても可能な限り住み慣れた自宅や地域での生活が維持できることを目的としたデイ・ヘルプ・ショートを一体化させ、同じ施設でサービスを提供します。利用者スタッフがなじみの関係が築けるよう区域を限定した小規模な施設となります。

(6) その他の取組み

①こほく健康づくり広場事業

長浜市内の高齢者を対象に、トレーニングマシーンによる運動の場所を提供し、運動・活動の意欲を引き出し、身体機能の低下防止を図るとともに、生きがいつくりや社会参加の場として広場の運営を行いました。

○開催場所 湖北センター

○開催実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催日数	20日	18日	22日	20日	22日	20日
利用者数	264名	253名	306名	304名	291名	311名
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日数	20日	20日	20日	20日	19日	22日
利用者数	299名	268名	245名	252名	297名	300名

②介護・介護予防出前講座

介護予防の推進、家庭介護者の負担軽減を図るため、各事業所の専門職員が、自治会、老人会、サロン等の地域へ出向き、介護、介護予防、認知症予防等の講座を実施しました。

実施件数：26件 内容：介護予防講座等

③通いの場健康づくり教室（市受託事業）

サロン等で高齢者が集い交流する通いの場にて、フレイルを予防する体操の指導および効果の測定、健康教育、健康相談を実施しました。

理学療法士等が各グループへ3回訪問し、日頃の体操の指導や運動機能評価（体力測定）、介護予防講座を実施しました。

※フレイル： 健常から要介護へ移行する中間の段階。具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指しています。

実施自治会 (地区)	実施期間	参加者数	延べ参加者数
加納(南郷里)	令和4年 7月～令和4年12月	10名	26名
南田附(南郷里)	令和4年 9月～令和4年12月	7名	17名
小堀(南郷里)	令和5年 2月～令和5年 2月	10名	8名
榎木(北郷里)	令和4年 7月～令和4年12月	8名	31名
垣籠(北郷里)	令和4年 7月～令和4年11月	13名	28名
保延寺(高月)	令和4年 7月～令和4年12月	20名	26名
西柳野(高月)	令和4年 9月～令和4年12月	22名	33名
田居(木之本)	令和4年 7月～令和4年12月	15名	29名
田部(木之本)	令和4年 7月～令和4年12月	15名	23名
杉野(木之本)	令和4年 8月～令和4年11月	15名	32名
小山(木之本)	令和4年 7月～令和4年12月	20名	42名
赤尾(木之本)	令和4年10月～令和5年 2月	13名	31名

④その他

(介護実習生受入)

各サービスにおいて介護職を目指す生徒・学生・社会人を実習生として受入れ、介護への理解と将来の実践者教育としての指導を行いました。

介護実習依頼元	受入事業	受入人数	期間
滋賀県立長浜北星高等学校	通所介護	6名	8月17日～8月30日
滋賀県社会福祉協議会	居宅介護支援	2名	2月 6日～3月 3日

3. 施設介護事業

コロナ禍での様々な制限がある中でも、利用者家族との関係や現在のサービスの質を低下させないための取り組みを継続して行いました。

委員会活動や研修会はリモートで実施し、職員の資質と意欲の更なる向上を図り、利用者の生活改善に取り組みました。

設備面では、タブレットを使用した記録の管理を行い、各ベッドに設置している見守り機器を活用し、より安全な介護の提供と介護負担の軽減を図りました。

感染予防に関しては、次亜塩素酸水での手洗いの実施、入館前の検温、マスクの着用、入館制限（必要業者のみ入館許可書記入にて入館）、面会はリモート面会や玄関でのガラス越し面会（看取り期のご家族は直接面会）での実施など、感染予防の徹底を図りました。

コロナ対策としては、湖北病院からの嘱託医と連携を取り、症状の発見、PCR 検査の実施、入院対応など早期対応にてクラスター化しないよう取り組みました。病院の感染委員会との連携によるコロナ対応のマニュアル化を図り、どの職員も同じ動きが取れるような体制をとりました。感染症 BCP を作成し、感染症 BCP を活用した伊香の里での取り組みを、滋賀県老人福祉施設協議会で研究発表しました。

運営改善として、給食委託から独自の給食提供へ変更する計画を行い、独自提供に変更することで副菜を1品多く提供でき、コストも削減できる様に計画しました。利用者の満足度向上や安心した生活の提供に加え、物価高騰に負けない体制づくりを進めました。

(1) 特別養護老人ホーム

①介護老人福祉施設（介護保険事業）

②短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業（介護保険事業）

○介護老人福祉施設（介護保険事業）

■稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	98.62	97.39	98.62	93.33	97.94	97.93	97.33	95.57	93.60	96.33	97.84	95.55	96.67	94.37

■介護度別入所者数（月末在籍者数） 単位：名

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	19	19	20	20	19	19	19	19	19	20	20	19	19.3	16.7
要介護4	23	24	24	23	24	24	25	27	26	27	27	29	25.3	21.6
要介護5	15	15	14	14	14	14	12	12	11	11	11	10	12.8	17.3
合計	57	58	58	57	57	57	56	58	56	58	58	58	57.3	55.6
退所者数	1	0	3	1	1	1	3	0	2	2	0	3	1.4	1.8
入所者数	2	1	3	0	1	1	2	2	0	4	0	2	1.5	2.5
入院者数	1	5	0	8	3	2	4	9	6	3	5	6	4.3	6.8

○短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業（介護保険事業）

■稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	108.61	103.23	111.67	92.20	104.03	106.11	104.03	102.22	102.15	46.24	102.08	100.00	98.55	99.65

■介護度別利用者数（上段：延べ人数 下段：実人員） 単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	52	45	29	29	33	38	26	30	55	16	40	37	36	56
	7	7	6	3	5	8	5	5	7	3	8	7	6	9
要介護2	176	156	170	125	128	148	149	142	103	55	110	132	133	179
	21	17	18	13	12	14	15	13	13	10	11	14	14	19
要介護3	85	108	129	101	128	104	107	110	121	60	113	135	108	64
	11	13	16	11	14	12	14	14	13	9	15	15	13	10
要介護4	32	28	30	28	40	42	45	32	44	30	42	32	35	40
	5	5	5	2	5	6	6	6	5	4	5	6	5	5
要介護5	46	47	42	60	58	48	58	54	57	11	38	34	46	51
	3	3	3	3	4	4	5	4	7	2	7	5	4	4
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	2	1	1
	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0
合計	391	384	402	343	387	382	387	368	380	172	343	372	359	390
	47	45	49	32	40	45	46	42	45	28	46	48	428	479

○施設実習受入実績

北星高校介護福祉類型3年生	3名	6月14日～7月5日（16日間）
北星高校介護福祉類型2年生	3名	8月17日～8月30日（10日間）
滋賀県立看護専門学校	6名	8月29日～8月30日（2日間）
彦根総合高校介護実習	2名	11月16日～11月18日（3日間）
北星高校介護福祉類型2年生	3名	11月1日～11月15日（10日間）
外国人介護職員初任者研修	2名	1月20日

○委員会活動実績

委員会名	実施日・内容
衛生委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） 職員の健康障害の防止や健康の保持増進に関して労働環境の改善や労働災害防止の取り組みについての審議・決定
事故防止委員会・身体拘束廃止委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） ヒヤリハットや事故の検討を行い組織的に事故の再発防止や未然に防ぐ取り組みの決定 身体拘束に関する検討、分析、承認
入所検討委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） 入所待機者をガイドラインに則り、入所順位の決定
給食・口腔ケア委員会	毎月第2水曜日 利用者の栄養状態の向上と食事を楽しむ工夫について検討。併せて歯科医師、歯科衛生士の指導のもと口腔ケア計画の策定と安全かつ効果的な口腔ケアの実施のための協議や勉強会の実施 令和5年度に向けた給食食材の勉強会や視察、業者の決定に向けた会議の開催

感染対策・褥瘡予防対策委員会	毎月第1金曜日 施設における感染対策防止マニュアルの作成とマニュアル遵守のための研修会の実施。消毒機器の導入等による環境整備と業務改善。利用者の褥瘡予防のための対策の検討および勉強会の実施
ケア委員会	毎月第2月曜日 技術向上、ロボットの活用（タブレット、眠りスキャン、移乗リフト）接遇全般を検討。利用者の安全、安楽な生活を目的に、統一した対応による快適な介助方法を実施。ロボット活用を主導的に行い介護負担の軽減を検討。また業務の見直しやよりよい介助方法を身に付けるための勉強会の実施
排泄委員会	毎月第2木曜日 利用者一人ひとりにあった排泄ケアの実現に向けて排泄パターンの分析を行い、個々の介助方法を見直すとともにオムツの見直しや介助技術の向上を図る研修会を実施 研修会から定期オムツ交換回数の平均化を導入し消耗品コストと人件費コストにご利用者の満足度をあわせて検討する協議を実施
コロナ対策委員会	毎月第1水曜日（臨時開催有） コロナ感染状況の把握やクラスター感染発生時の対応方法など検討。併設する長浜市立湖北病院の感染委員と連携しコロナクラスターなどの感染症を随時対応。感染症BCPを作成修正評価する。感染症BCPを活用した伊香の里での取り組みを、滋賀県老人福祉施設協議会で研究発表し副賞受賞

(2) ケアハウス伊香

軽費老人ホーム事業

自炊ができない程度の身体機能の低下があり、独立して生活するには不安がある方で、家族等による援助を受けることが困難な入居者に食事や入浴等、日常生活上必要な支援を提供するとともに、感染予防に努めながら、毎月、買い物やレクリエーションの機会等を持ち、地域の中で可能な限り自立した生活を営めるように支援しました。

新型コロナウイルス感染予防のため、外出や面会、ボランティアの受け入れ等、制限がある中で、入居者の生活に楽しみや生きがいを持つような支援を模索し実施しました。

入居者の平均年齢は85.25歳で、70歳から99歳の男性2名、女性10名の計12名（令和5年3月末）が入所されています。幅広い年齢層の中での集団生活には様々な課題がありますが、必要に応じた相談支援を行うことで、満足度の高い生活環境づくりを進めました。また、他部門と連携をはかり、介護サービスが適切に受けられるように支援体制の強化に努めています。

なお、2人部屋は3部屋あり、一時ご夫婦で入居され、13名の入居者がおられました。現在は3部屋とも単身での入居となっており、そのため12名で満室となっております。

老人ホーム検索サイト「みんなの介護」に掲載中で、サイトからの問い合わせは、合計29件受けております。

■実績(月末在籍者数) 単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	稼働率
入居者数(名)	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	12	83.8%

■要介護度別利用者数(年度末人数) 単位：名

	自立	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数(名)	3	0	4	2	2	1	0	0	0	12

4. 福祉ステーション・地域福祉センターの指定管理

(1) 福祉ステーション指定管理

① 指定管理施設一覧

施設名	所在地
長浜東部福祉ステーション	東上坂町 1000
長浜北部福祉ステーション	神照町 288-1
浅井デイサービスセンター	今荘町 859-1
湖北福祉ステーション	湖北町速水 1860
高月福祉ステーション	高月町西物部 73-1
木之本福祉ステーション	木之本町千田 53
西浅井福祉ステーション	西浅井町塩津浜 1795

② 高齢者福祉センター事業(東部・北部・高月・木之本)

○外出支援事業(東部・北部)

高齢者等の閉じこもり予防を目的として、地域住民の利用促進を図るため車両の運行で福祉ステーションをより身近な憩いの場所として活用するとともに、買い物支援等を実施することで要介護者等の生活向上を目指しました。また健康増進を図るため、こころやからだの病気、生活習慣改善等についての健康相談を行いました。

	実施回数	参加者数(延べ)
東部高齢者福祉センター	12回	110名
北部高齢者福祉センター	22回	453名

○生きがいづくり講座(東部・北部)

	内容	実施回数	参加者数(延べ)
東部高齢者福祉センター	生きがいづくり講座	3回	20名
北部高齢者福祉センター	生きがい作り講座	4回	94名
北部高齢者福祉センター	親子にこにこ広場	2回	30名
北部高齢者福祉センター	スマホ講座	3回	30名

○生きがいづくり講座の開催とサークル活動支援（高月・木之本）

高齢者等の生きがいづくりを促進するため、各種趣味活動への導入講座を開催し、高齢者の活動的で豊かな余暇活動を支援しました。また、講座参加者が中心となるサークル活動を支援することで地域のつながりを深めました。

	内容	実施回数	参加者数(延べ)
高月高齢者福祉センター	ヨガ教室	15回	304名
	シルバー体操	20回	178名
	カラオケ教室	14回	148名
	男の料理教室	8回	88名
	フラワーアレンジメント教室	8回	81名
木之本高齢者福祉センター	折り紙 あじさい	7回	59名
	男の料理教室	5回	71名
	絵画教室	18回	87名
	老ク連 卓球クラブ	18回	167名

○福祉講演会の開催

地域住民を対象に福祉課題に対する研修や講演会を開催し、福祉意識の啓発と福祉の担い手の発掘・育成を図りました。また地区社会福祉協議会（福祉の会）やまちづくりセンター事業と連携して開催することで、地域・施設間の連携の強化に努めました。

	内 容	参加者数(延べ)
東部高齢者福祉センター	福祉講演会 5 連続講座	90名
北部高齢者福祉センター	生きづらさを抱える子の居場所づくり～	76名

○高齢者福祉センター利用状況

地域の福祉事業の拠点として運営を行い各地域福祉事業の展開、地域住民・福祉団体活動に活用いただきました。

■東部高齢者福祉センター

	件数	利用者数
保健事業	1件	39名
交流会	0件	0名
会議	3件	13名
施設貸出	66件	518名
外出支援	12件	110名
施設管理ボランティア	3件	74名
電子浴サービス	0件	0名
合 計	89件	808名

■高月高齢者福祉センター

	件数	利用者数
自主事業	65件	799名
団体利用	678件	3,706名
合 計	743件	4,505名

■北部高齢者福祉センター

	件数	利用者数
保健事業	1件	47名
研修・視察・学習会	16件	61名
交流会	91件	244名
会議	265件	1,288名
施設貸出	3件	167名
外出支援	22件	453名
健康広場	70件	316名
合 計	468件	2,576名

■木之本高齢者福祉センター

	件数	利用者数
自主事業	65件	424名
団体利用	273件	2,143名
合 計	338件	2,567名

■湖北福祉ステーション

	件数	利用者数
自主事業	722件	6,752名
団体利用	143件	1,963名
合計	865件	8,715名

③地域包括支援センター（北部・高月）

④活動支援型通所サービス事業（北部・高月）

⑤その他介護事業

- 通所介護事業（東部・北部・浅井・びわ・湖北・高月・木之本・西浅井）
- 居宅介護支援事業（湖北・西浅井）

(2) 長浜市地域福祉センター指定管理

地域福祉等に関する様々な相談や支援の窓口、地域福祉活動の総合支援拠点として運営を行いました。

○所在地：長浜市高田町 12-34 さざなみタウンながはま文化福祉プラザ3階

○長浜市地域福祉センター利用状況

内 訳	件 数	利用者数
貸館	406件	3,274名
窓口対応	2,974件	6,279名
合計	3,380件	9,553名

5. 公益事業

(1) 地域包括支援センターの運営

長浜北部福祉ステーション（神照）、生きがいセンター（虎姫）、高月福祉ステーション（高月）の3カ所で市の委託により地域包括支援センターを運営しました。

地域包括支援センターでは、総合相談支援、介護予防ケアマネジメント業務等を提供することで、身近で専門的な高齢者相談窓口として運営を行なうとともに、生活支援コーディネーター等との連携のもと、地域における住民主体の福祉活動等の把握、住民及び専門職ネットワークの構築に努め、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進しました。

○設置運営場所

- 神照郷里地域包括支援センター 長浜市神照町 288-1 長浜北部福祉ステーション内
- 浅井びわ虎姫地域包括支援センター 長浜市宮部町 3445 生きがいセンター内
- 湖北高月地域包括支援センター 長浜市高月町西物部 73-1 高月福祉ステーション内

○事業実績

■総合相談支援事業

相談形態	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合計
電話	3,339件	2,038件	1,639件	7,016件
来所	442件	380件	332件	1,154件
訪問	956件	809件	673件	2,438件

会議	152件	127件	151件	430件
その他	111件	36件	23件	170件
合計	5,000件	3,390件	2,818件	11,208件

■虐待対応

	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合計
対応件数	18件	16件	12件	46件

■介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援			介護予防ケアマネジメント			合計		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
神照郷里	993件	1,169件	2,162件	529件	551件	1,080件	1,522件	1,720件	3,242件
浅井びわ虎姫	922件	742件	1,664件	451件	146件	597件	1,373件	888件	2,261件
湖北高月	696件	641件	1,337件	347件	248件	595件	1,043件	889件	1,932件
合計	2,611件	2,552件	5,163件	1,327件	945件	2,272件	3,938件	3,497件	7,435件

■包括的・継続的ケアマネジメント業務

会議名	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合計
地域ケア会議	79回	79回	70回	228回
虐待対応会議	76回	61回	50回	187回
認知症施策推進	28回	53回	37回	118回
多機関連携会議	68回	40回	46回	154回
合計	251回	233回	203回	687回

■研修・地域ネットワーク活動

内容	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合計
研修参加	83回	94回	68回	245回
地域ネットワーク活動	38回	31回	46回	115回

(2) 介護職員初任者研修の開催

在宅サービス事業を幅広く実施し多数の有資格者を有する本会では、そのノウハウを活かし、介護の現場で必要となる基礎的な知識と技術を身につけることができる「介護職員初任者研修」を実施し、人材の育成・確保に努めました。

- 開催期間 令和4年5月25日～令和4年9月8日の全23日間（施設実習1日含む）
- 開催場所 湖北福祉ステーション
- 受講者 7名

(3) 外国人介護職員初任者養成研修の開催（県受託事業）

高齢化の進展と人口減少社会の中で多様なルートからの人材確保が必要になっていることから、良質な介護サービスが安定して提供されること、ならびに外国人の方々の雇用の促進を目的として、県内在住の外国人を対象とした「介護職員初任者研修」を実施しました。

また、開催にあたっては、本会のみならず湖北地域介護サービス事業者協議会等と連携をとり、

新たな人材確保に努め、修了者のうち1名を介護事業所への就労につなげられました。

○開催期間 令和4年9月17日～令和5年2月11日の全23日間（施設実習1日含む）

○開催場所 湖北福祉ステーション

○受講者 20名

6. 法人運営等

(1) 理事会の開催

○令和4年6月8日（水）

■令和3年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 事業報告について

■令和3年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について

■令和3年度 長浜市共同募金委員会収支決算について

■評議員選任候補者の推薦について

■評議員選任・解任委員会の招集について

■評議員会の招集および招集に必要な事項について

○令和4年9月29日（木）

■評議員選任候補者の推薦について

■評議員選任・解任委員会の決議の省略について

○令和5年3月20日（月）

■令和5年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画（案）について

■令和5年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算（案）について

■令和5年度 長浜市共同募金委員会予算（案）について

■役員等賠償責任保険契約を締結することについて

■評議員選任候補者の推薦について

■評議員選任・解任委員会の決議の省略について

■評議員会の招集および招集に必要な事項について

(2) 評議員会の開催

○令和4年6月23日（木）（定時）

■令和3年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について

■令和3年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について

■令和3年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算について

○令和5年3月28日（火）

■令和5年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画（案）について

■令和5年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算（案）について

■令和5年度 長浜市共同募金委員会予算（案）について

(3) 監事会の開催

○令和4年5月26日（木）

■令和3年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について

■令和3年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について

- 令和3年度 長浜市共同募金委員会 会計収支決算について
- 令和4年12月13日(火)
- 令和4年度(前期分)社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和4年度(前期分)社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

- 令和4年6月13日(月)
 - 評議員の選任について
- 令和4年10月3日(月) ※書面決議
 - 評議員の選任について
- 令和5年3月29日(水) ※書面決議
 - 評議員の選任について

7. その他事業

①生活困窮者就労訓練事業

自立相談支援機関(生活困窮者自立支援法に基づき自治体やその委託事業者が運営)のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者を受入れ、その状況に応じた就労の機会を提供するとともに、生活面や健康面での支援を実施しました。

- 受け入れ 1名(183日間)
- 訓練内容 事務補助・施設維持管理業務等

②善意銀行

- 金銭口座 85件 4,459,516円
- 物品口座 79件

食料品	26件	お米等
介護用品等	17件	紙おむつ、ポータブルトイレ等
日常生活用品	24件	衣類、布団、タオル等
その他	12件	テレビ等

③日本赤十字社滋賀県支部長浜市地区事務局の運営

日本赤十字社の活動資金(会費・寄付金等)募集、災害時における救援援助活動、赤十字奉仕団活動の支援等を実施しました。本市でお寄せいただいた会費・寄付金等については、日本赤十字社滋賀県支部をとらして国内外の被災地支援や世界中の災害および紛争、病気などに苦しむ人々を救うための活動資金として活用されます。

区 分	金 額 (円)
会費・寄附金	6,968,200
法人活動資金	695,000
合 計	7,663,200



日本赤十字社公式HP

④長浜市共同募金委員会事務局の運営

赤い羽根共同募金（一般募金）および歳末たすけあい募金を推進するために、事務局を設置し円滑な募金活動に取り組みました。お寄せいただいた募金は、滋賀県共同募金会をとおして長浜市内および滋賀県内の地域福祉の推進、全国の被災地復興支援活動に活用されます。

○赤い羽根共同募金（一般募金）運動の推進

区 分	募 金 額 (円)
戸別募金	5,512,327
街頭募金	0
法人募金	718,930
学校募金	165,801
職域募金	209,224
その他の募金	173,605
合 計	6,779,887



滋賀県共同募金会公式HP

○歳末たすけあい運動の推進

	募 金 額 (円)
歳末たすけあい募金	4,199,819

⑤社会福祉協議会会費実績

- 一般会費：420自治会他 11,990,506 円
- 特別会費：185件 839,640 円

注記 事業報告の附属明細書については事業報告と一体的に作成しています。